

<平成27年度インド草の根・人間の安全保障無償資金協力実施案件>
「テランガナ州ランガレディ県人身売買被害女性のための保護及び社会復帰支援施設建設計画」
(供与金額：88,677米ドル)

平成30年3月14日、テランガナ州ランガレディ県（ハイデラバード近郊）において在チェンナイ総領事館番場領事、被供与団体「カスツューバ・ガンディ国立記念基金」関係者、来賓、本案件の裨益者および地元住民等約200名が出席して、本案件の完成式典が行われました。本案件ではランガレディ県において、人身売買被害者の女性の保護及び社会復帰、自立支援を目的とし、寄宿舍兼職業訓練施設の建設を実施しました。カスツューバ・ガンディ国立記念基金はマハトマ・ガンディが設立に携わった歴史的な団体であり、1945年の活動開始以降インド全国22ヶ所に支部を構え、ガンディの思想にもとづき農村地域の女性のエンパワメント及び子供の保護に焦点を当て、教育や人権啓発活動に力を入れてきました。本案件を実施したハイデラシャコテ支部は、1965年より困窮女性及び人身売買被害女性の保護支援活動を実施し、2014年には中央政府より人身売買被害女性保護支援事業を委託されました。助成金の増額に伴い支援人数が増し、深刻なスペース不足の問題に直面することとなり、配慮の行き届いた十分な支援が困難な状況に陥ったため、支援の質及び施設利用者の生活環境の向上を目的とし、草の根・人間の安全保障無償資金協力により新棟を建設しました。本案件により、人身売買被害女性に対し、インド中央政府及び警察との連携のもと、より配慮の行き届いた包括的な支援の提供が可能となり、更には、日印両国の友好関係が強化されることが期待されています。

「テランガナ州ランガレディ県人身売買被害女性のための保護及び社会復帰支援施設建設計画」完成式



施設内部の様子



式典の様子



日本の支援を示すプレートの前にて
番場領事および来賓と



完成式には200名以上が出席



完成した施設外観